

～いわての歴史探訪～

豊かな自然に恵まれた広大な県土をもつ岩手県。

縄文時代から現代まで、岩手の歴史を詳しく紹介してきました。

今回は、岩手が輩出した先人たちを紹介します。



■ 石川啄木（1886 年～1912 年）

南岩手郡日戸村（現・盛岡市）出身。本名は一（はじめ）。盛岡中学（現・盛岡第一高等学校）時代から文学を志し、明治 35 年上京した。与謝野鉄幹の指導を受け、詩集「あこがれ」を刊行した。翌年、母校渋民小学校の代用教員となるが学校と対立し免職。以後、北海道や東京を巡り、創作に没頭、「一握の砂」を刊行し評価を得た。

しかし、貧困と病のため渋民の地に戻ることなく、26 歳の薄幸の生涯を閉じた。



■ 宮沢賢治（1896 年～1933 年）



稗貫郡里川口村（現・花巻市）出身。盛岡中学から盛岡高等農林学校（現・岩手大学）に進み、卒業後、教師を経て花巻に羅須地人協会を設立、農民の教育、指導にあたった。文学、農業、教育、宗教、地質学と様々な分野に才能をあらわした。後年は病に冒され、37 歳で永眠した。

代表作には、詩集「春と修羅」、童話「注文の多い料理店」「銀河鉄道の夜」、「風の又三郎」などがある。

■ 原 敬（1856 年～1921 年）

盛岡市出身。政党政治の基礎を作った総理大臣。外務次官、朝鮮公使を経て、伊藤博文らとともに立憲政友会を創設、大正 3 年政友会総裁となる。大正 7 年、わが国初の爵位を持たない総理大臣となり「平民宰相」と呼ばれた。

■ 新渡戸稲造（1862 年～1933 年）

盛岡市出身。思想家、農学・法学博士。国際連盟事務次長などを務め、諸外国の日本理解に尽力した国際人。昭和 8 年にカナダで開かれた太平洋会議には日本代表として出席した。「われ太平洋の橋とならん」は有名。

～記念館のご紹介～

名称	住所	電話番号
石川啄木記念館	盛岡市渋民字渋民	019-683-XXXX
宮沢賢治記念館	花巻市矢沢第 1 地割	0198-31-XXXX
原敬記念館	盛岡市本宮四丁目	019-636-XXXX
新渡戸稲造記念館	花巻市高松	0198-31-XXXX

次回は、**いわての民俗芸能**のご紹介です。

※次回の発行日は 6 月 30 日を予定しています。

いわて地域応援課 広報部
〒020-8570
岩手県盛岡市内丸 10-X
電話番号：019-629-XXXX
ファクス番号：019-651-XXXX

発行日：2023 年 4 月 30 日
編集元：いわて歴史探訪編集部